

令和5年8月17日

各 位

Media Seek

株式会社 メディアシーク

代表取締役社長 西尾 直紀

(コード番号:4824 東証グロース)

問合せ先 取締役業務管理部長

市橋 哲

(TEL 03-5423-6600)

新たな事業(接骨院向けブレインテックサービス)の提供開始に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、アトラグループ株式会社（本社：大阪府大阪市西区、代表：久世博之、以下「アトラグループ」）と新たな事業を開始することについて合意いたしましたので、お知らせいたします。

1. 事業開始の趣旨

当社は、接骨院・鍼灸院の支援事業を展開するアトラグループと基本合意書を締結し、脳波を活用したブレインテックトレーニングサービスの提供を開始いたします。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

当社は、ブレインテック事業に取り組む中で脳波と身体の痛みとの関係に着目し、サービス開発を進めるとともに、痛みの緩和を目的とした研究を推進してきました。

そのブレインテック・DTxに関する知見を活用し、アトラグループが支援する接骨院・鍼灸院・マッサージ院向けに痛みの緩和を目的とした、ブレインテックトレーニングサービスを提供いたします。加えてアトラグループが療養費請求代行を行うアトラ請求サービスの会員に提供している、院内管理システム「A-COMS」と、当社が提供するブレインテックトレーニングサービスをシステム連携させ、脳のデータが常に確認出来ることで施術後の患者の状態をより多面的に評価することを可能にし、新しい施術の実施を促します。

アトラグループが運営するほねつぎ接骨院への導入を先行的にスタートし、全国の「A-COMS」利用会員の施術所に通う患者1万人を対象とした回数券型、もしくは月額定額制のブレインテックトレーニングサービス利用を目指します。

(2) 当該事業を担当する部門

ブレインテック・DTx

(3) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

当該事業の提供に対する初期開発費用は、既存の事業運営及び研究開発活動として費用計上済みとなっております。よって、現時点において特別に支出する予定はございません。当該事業の今後の事業展開に際しまして当社のビジネス開発部及び技術開発部の人員の稼働が発生することが想定されますが、詳細につきましては、現時点でも検討を進めている最中となります。今後、適時開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

3. 日程

事業開始期日：令和5年8月17日

4. 相手先の概要

(1) 名称	アトラグループ株式会社		
(2) 所在地	大阪市西区立売堀四丁目6番9号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 久世 博之		
(4) 事業内容	接骨院・鍼灸院の支援事業		
(5) 資本金	105,460千円		
(6) 設立年月日	平成17年1月		
(7) 大株主及び議決権比率	一般社団法人みどり会 27.73%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係、人的関係、取引関係、関係当事者への該当はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	令和2年12月期	令和3年12月期	令和4年12月期
純資産	1,369,911千円	1,439,452千円	1,307,156千円
総資産	4,342,404千円	5,595,364千円	4,652,439千円
1株当たり純資産	154.00円	147.69円	133.37円
売上高	2,426,748千円	3,158,240千円	4,671,498千円
営業利益又は営業損失(△)	△410,160千円	△223,022千円	2,823千円
経常利益又は経常損失(△)	△395,835千円	△224,672千円	15,178千円
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△440,764千円	△351,122千円	2,104千円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)	△49.87円	△36.76円	0.22円
1株当たり配当金	3.50円	—円	—円

5. 今後の見通し

本件が令和6年7月期の業績に与える影響につきましては現在精査中であり、令和5年9月11日公表予定の令和5年7月期決算短信発表において、その影響を織り込んで開示いたします。

6. 添付資料

メディアシーク、アトラグループ株式会社と基本合意書を締結し、接骨院向けにブレインテックサービスの提供を開始

以上

2023年8月17日

各位

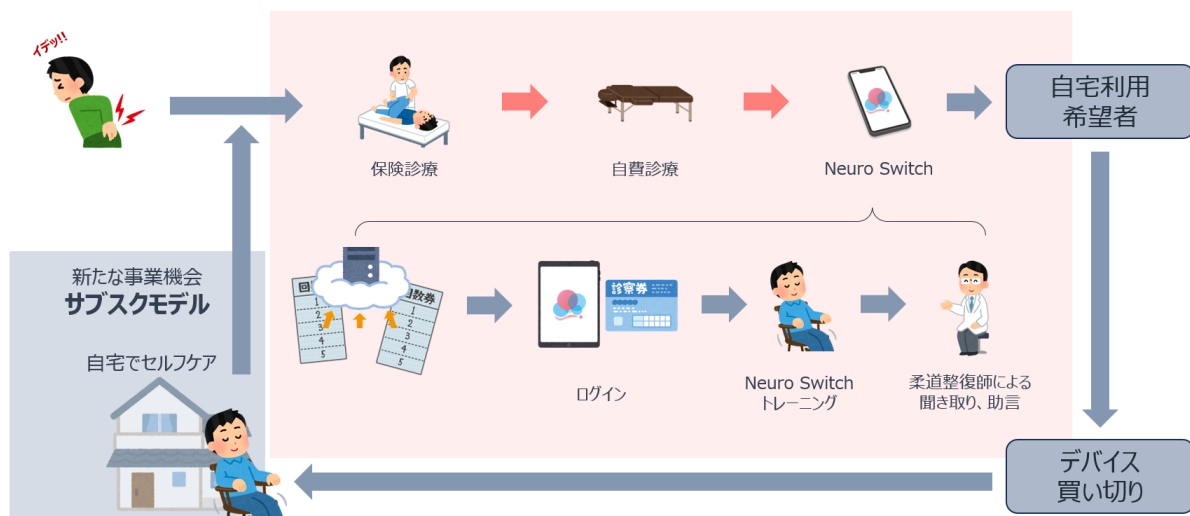
メディアシーク、アトラグループ株式会社と基本合意書を締結し、接骨院向けにブレインテックサービスの提供を開始

ブレインテック関連事業を推進している株式会社メディアシーク(本社:東京都港区、代表:西尾直紀、以下「メディアシーク」)は、接骨院・鍼灸院の支援事業を展開するアトラグループ株式会社(本社:大阪府大阪市西区、代表取締役会長兼社長:久世博之、以下「アトラグループ」)と基本合意書を締結し、脳波を活用したブレインテックトレーニングサービスの提供を開始します。

メディアシークは、ブレインテック事業に取り組む中で脳波と身体の痛みとの関係に着目し、サービス開発を進めるとともに、痛みの緩和を目的とした研究を推進してきました。そのブレインテック・DTxに関する知見を活用し、アトラグループが支援する接骨院・鍼灸院・マッサージ院向けに痛みの緩和を目的とした、ブレインテックトレーニングサービスを提供します。加えてアトラグループが療養費請求代行を行うアトラ請求サービスの会員に提供している、院内管理システム「A-COMS」と、メディアシークが提供するブレインテックトレーニングサービスをシステム連携させ、脳のデータが常に確認出来ることで施術後の患者の状態をより多面的に評価することを可能にし、新しい施術の実施を促します。

アトラグループが運営するほねつぎ接骨院への導入を先行的にスタートし、全国の「A-COMS」利用会員の施術所に通う患者1万人を対象とした回数券型、もしくは月額定額制のブレインテックトレーニングサービス利用を目指します。

<サービスイメージ図>



■痛みの緩和にブレインテックの知見を活用する背景

人が感じる痛みについて、特に慢性痛においては痛いという感覚以外に、その痛みを不快に思う情動と、痛みに関する考え方(認知)も重要とされています。こういった痛みに関する心理的要素にアプローチするためにも、医療機関等は脳を含めて多面的に痛みを捉えて施術を行っていく必要があります。

接骨院等における施術においても、ブレインテックを活用し、データに基づきより適切な施術を選択すること等により、施術効果の増幅、ロスの削減、患者の満足度の向上などが期待できます。

※本プレスリリースに記載の会社名および商品名/サービス名は各社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。